

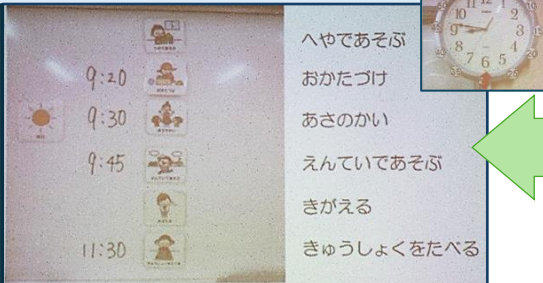
＊ 保育園・小学校のプレゼンテーションより ＊

《 保育園 》

保育園の生活の流れと就学を見通しての取り組み

- ・就学を見通して自立心を養うことやできないときには助けを求めることができるようにする。
- ・皆の役に立つ気持ちと責任感をもてるよう当番活動を行う。
- ・行事等でやりたいことをこどもと考え自主性を養えるようにする。
- ・遊びの中で数字、言語、表現を意識的に取り入れている。
- ・公共の場でのルール、社会生活に必要な挨拶、マナーを身につける。

5歳児クラスの室内



似ていませんか？

《 小学校 》

スタートカリキュラムと滑らかな就学のための工夫

- ・4月は幼稚園、保育園で楽しんできた歌やゲームなどで、保幼小の緩やかな移行を行っている。
- ・週を追うごとに少しずつ学校の時程に近づけることで戸惑いも少なく過ごせている。
- ・毎日の支度などをルーチンにしていすることで不安が少なくなっている姿が見られる。
- ・言葉がけや環境設定を工夫し、見通しをもって生活ができるようにする。
- ・保護者に学校での取り組みを知らせることで不安が少なくなる。

あさのしたく

- ①らんどせるのなかのものをだす
 - ・らんちゃんまっとはつくえのよこ
 - ・きょうかしよ、のおと、したじき、れんらくぶくろ、ふでばこはつくえのうえ
- ②ぼうし、うわぎはらんどせるのなか
- ③らんどせる とすいとうをしまう
- ④なふだをつける
- ⑤しゅくだい をだす
- ⑥てあらい、うがい、トイレ
- ⑦れんらくちょうを かく

8じ20ふんに
6ねんせい
ありがとう

1年生の教室

《事例によるグループ討議》 事例1. 給食の場面・2. 「学校のルール、お家ルール」

事例をもとに保幼小それぞれの現状や問題点、課題などを付箋に書き込み、模造紙に貼り、話し合いました。話し合った成果物を皆で見合い、黄色い付箋に質問や意見を書き込み、意見を交わし、そこでも交流ができました。

各日2グループ
に発表していた
できました。

事例2の「学校のルール・お家ルール」について話し合ったグループが多かったです。

先生方の取り組みや事例の場面で気になること、こどもの特性などから課題や解決法など話し合いました。

「ひらがなの読めない子もいるため、掲示物などで見通しをもてるようにする」「切り替えが難しい場合はタイマーなどを使い時間に気づき時間感覚を養っていく」「個別にスモールステップで対応をする」「こども同士で声をかけ合い、やることを知らせたり助け合ったりできるよう育てて行く」などの意見が出ました。

保育園、幼稚園、小学校で
お互いの生活や活動など
で気になっていることを
質問し、話し合ったグル
ープもありました。



研修生の感想

- ・小学校だから、幼稚園・保育園だからではなく、こどもの発達成長はつながっていることをより意識して指導していきたい。連携、話し合いは増えた方がよい。交流の場を増やしてほしい。
- ・プレゼンテーションの話で以前と比べて差を埋めようとしてくれていることが感じられた。しかし、グループ討議ではまだまだ大きなギャップがあることも感じたので、どちらも歩み寄りながら、その差を埋めていけるとよいと思った。
- ・保幼で働く方の声を聴き、連携と一言と言っても、目指しているもの、ねらいが違っていたということに気付く機会になった。意見を交換していくことで、スムーズな就学につながると感じた。